

東広島100歳大学（仮称）in 福富プロジェクト

地域の現状・課題（今の地域）

- ・人口減少，超高齢化社会の進展（福富地区／高齢化率：41.2%）
- ・高齢者の生きがい創出，健康づくり（健康寿命）
- ・独居高齢者，高齢期の孤立化防止
- ・高齢期の個人の自立と地域参画・社会貢献の仕組みづくり
- ▶ 人生100年時代を見据えた，高齢者対象の学習機会の充実

目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・体系的に「古い」の基礎・基本を学ぶ
- ・同年代の仲間をつくり，地域で生きる（地域の絆づくり）
- ・高齢者の主体的な学びの支援と「学びの循環」づくり（地域参画・社会貢献）
- ▶ 地域センターを拠点とした，高齢者対象講座の展開



取組の概要

- ポイント**
- ① 「教室」は**住民に最も身近な学習・交流の活動拠点である「地域センター」**（公民館）を活用
 - ② 「先生」は現場の実践家・専門家，企業・大学・行政など，**地域の多様な主体・人材を積極的登用**
 - ③ 「授業」は「講義」とともに現場での「**体験**」（**実技，演習，対話，フィールドワーク**）を豊富に
 - ④ 「カリキュラム」は**住民（学習者）の参画**による協働型学習プログラムとして開発
 - ⑤ 地域の学びのネットワークを支援する**コーディネーター人材**（生涯学習推進員）を育成・配置

準備期

■プロジェクトの周知と理解・協力の促進，ネットワーク・チームの組織化

- ・地域センター，自治協議会ほか，関係団体（関係者）との連携，ネットワーク化に向けたコーディネート
- ・プロジェクトチーム（運営委員会）の立ち上げ，企画調整会議（研修・ワークショップ）（※随時）
- ・高齢者教育を考える講演会開催（地域住民を対象とした周知・啓発，カリキュラム開発のための先進事例研修）

試行期

■「ふくとみ幸齢カフェ」（仮称）の試行実施（各地域センター）

- ・地域センターの既存事業（百歳体操，終活，料理等）と組み合わせ，“ふくとみ幸齢カフェ”（仮称）を実施
- ・「100歳大学」の展開（学習プログラム開発，運営ノウハウ構築等）に向けた試行実施

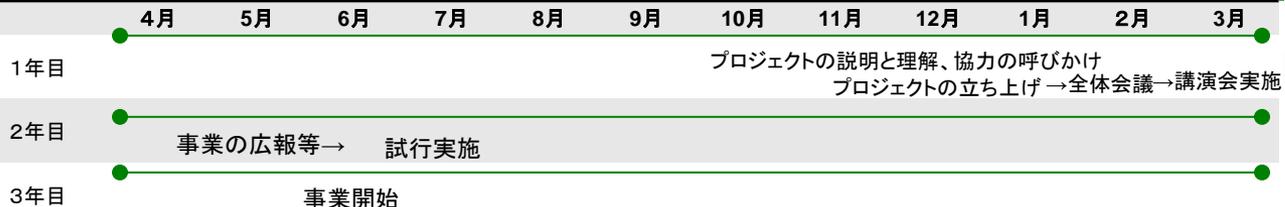
実施期

■「東広島100歳大学（仮称）・福富キャンパス」（仮称）の実施（各地域センター）

- ・運営委員会で開発したカリキュラムにより「100歳大学」を開講
- ・認知症予防，特殊詐欺予防，福祉制度，地域参加，幸せづくりなど，老いを学び・備える講座を展開（「生涯学習まちづくり出前講座」と「サテライトキャンパス事業」の積極的活用）

発展・継続・関連

- ・受講修了者の主体的なプロジェクトの運営に向けた支援 ・事業（カリキュラム・運営）の改善・充実
- ・講師（地域人材）の育成と確保 ・協力団体等の連携の広がり継続 ・地域参画・社会貢献活動への支援



成果指標（目的の達成度，波及効果）

【定量評価】

- ・講座の実施回数（※生涯学習推進計画評価指標）
- ・講座参加者数
- ・今後の生活に役立つ新たな知識等を得られた人の割合
- ・この地域で暮らし続けたいと実感した高齢者数

【定性評価】

- ・地域内ネットワークの構築
- ・地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

実施体制（連携・協力団体等）

【連携】

- ・福富生涯学習支援センター（プロジェクト主管）
- ・福富町内の地域センター（竹仁・久芳・上戸野）
- ・各地区自治協議会
- ・東広島市教育委員会生涯学習課

【協力】

- ・地域おこし協力隊，・東広島市役所福富支所
- ・社会福祉協議会 ・福富図書館

運営財源・活動資金

- ・生涯学習支援センター及び地域センター主催講座の講師謝金